

第5回 横浜海の森つくりフォーラム アマモ場の復活による豊かな海辺の再生を

2007.12.7(金)・8(土)

参加費無料・事前申込み不要*

*8日昼食会は事前申込みが必要です。(会費制：1000円程度)

ポクも
参加するよ!
(8日のみ)



パシフィコ横浜+横浜市立大学金沢八景キャンパス

かつて東京湾に生い茂っていた海の森「アマモ場」。
2003年から横浜の一角で始まった「アマモ場」復活の活動が、
この消えゆく海の森をよみがえらせようとしています。
そして一度は姿を消した江戸前の魚介類も海の森の復活とともに
東京湾に戻りつつあるのです。

まずは、海のエキスパートが東京湾の未来を語る
「第8回東京湾シンポジウム、第3回海辺の自然再生に向けたパネル展」と、
子どもたちがチャレンジし続けている海辺での活動成果などを披露する
「第5回横浜海の森つくりフォーラム」で、
今の東京湾を見つめてください。

きっと未来の東京湾が見えてきます。

詳細は次のホームページをご覧ください

アマモ場再生会議

<http://www.amamo.org>

国土技術政策総合研究所

<http://www.meic.go.jp>

—2008年全国アマモサミット開催をめざして—

この活動は全労済地域貢献活動事業の支援を受けて実施されます

主催：金沢八景 - 東京湾アマモ場再生会議・国土交通省国土技術政策総合研究所

問い合わせ先：金沢八景 - 東京湾アマモ場再生会議事務局 電話：045-317-9055 Fax:045-317-9072 E-mail:lokyowan@yokohama-cu.ac.jp

後援 国土交通省港湾局・水産庁・環境省・東京湾再生推進会議・神奈川県・横浜市環境創造局・(公)横浜市立大学・(社)全国豊かな海づくり推進協会・特定非営利活動法人 海に学ぶ体験活動協議会

第5回 横浜海の森づくりフォーラム前日シンポ・パネル展 12月7日(金) 13:00～17:00 (受付開始: 12:30)

(第8回東京湾シンポジウム、第3回海辺の自然再生に向けたパネル展)

会場: パシフィコ横浜 会議センター 3階

(横浜市西区みなとみらい1-1-1、みなとみらい線「みなとみらい」駅より徒歩5分)

[シンポジウム] 開発と環境保全の調和を目指した目標設定

話題提供: 水産工学研究所・大阪府立大学・国土技術政策総合研究所
国立環境研究所・電力中央研究所・海洋生物研究所・日本NUS 他

[パネル展] 企画展示: 手引き・ガイドラインに見る、海辺の自然再生の目標

パネル作成: 環境調和型研究会・

土木学会海洋開発委員会順応的管理研究小委員会



第5回 横浜海の森づくりフォーラム 12月8日(土) 10:00～17:00 (受付開始: 9:30)

会場: 横浜市立大学 金沢八景キャンパス

(横浜市金沢区瀬戸22-2、京浜急行「金沢八景」駅より徒歩5分)

[パネル展示 10:00～17:00] 於 市大交流プラザ「いちようの館」

企画パネル展示「海辺の再生に向けた目標設定」

公募パネル展示「干潟・浅場の自然再生」

[企画+公募パネル展示の出展者による説明 11:00～12:00]

[昼食会 12:00～12:40] (事前にお申込みください)

パネル展示を見ながらのスナック形式(会費制)です。

[休憩 12:40～13:00]

[フォーラム 13:00～16:30] 於 カメリアホール

世代を超えた連携による自然再生活動(13:00～15:00)

横浜市立 西栗小学校・大道小学校・瀬々崎小学校・金沢小学校

港区立港陽小学校(東京)・福井県立小浜水産高校

海辺の自然再生に関する活動の報告(15:00～16:30)

三番瀬での活動の報告

特定非営利活動法人三番瀬環境市民センター副理事長 町田恵美子

横浜におけるアマモ場再生活動

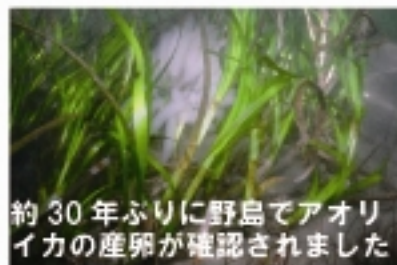
神奈川県水産技術センター主任研究員 工藤孝浩

まとめ

金沢八景-東京湾アマモ場再生会議代表 林しん治



海の公園のアマモ場



約30年ぶりに野島でアオリイカの産卵が確認されました



昨年も子供たちが大活躍!

第5回 横浜海の森づくりフォーラム昼食会(8日) 申込書 申込期限: 12月4日(火)

下記の内容を金沢八景-東京湾アマモ場再生会議事務局までe-mailまたはFAXにてご連絡ください。

氏名(ふりがな):

年齢:

所属:

連絡先電話番号またはe-mail:

金沢八景-東京湾アマモ場再生会議 事務局

Fax: 045-317-9072 E-mail: tokyowan@yokohama-cu.ac.jp

